

海を照らす灯台のなかまたち🏰

～伊予深浦港荷箸鼻灯台

(いよふかうらこうにのばえはなとうだい) ～

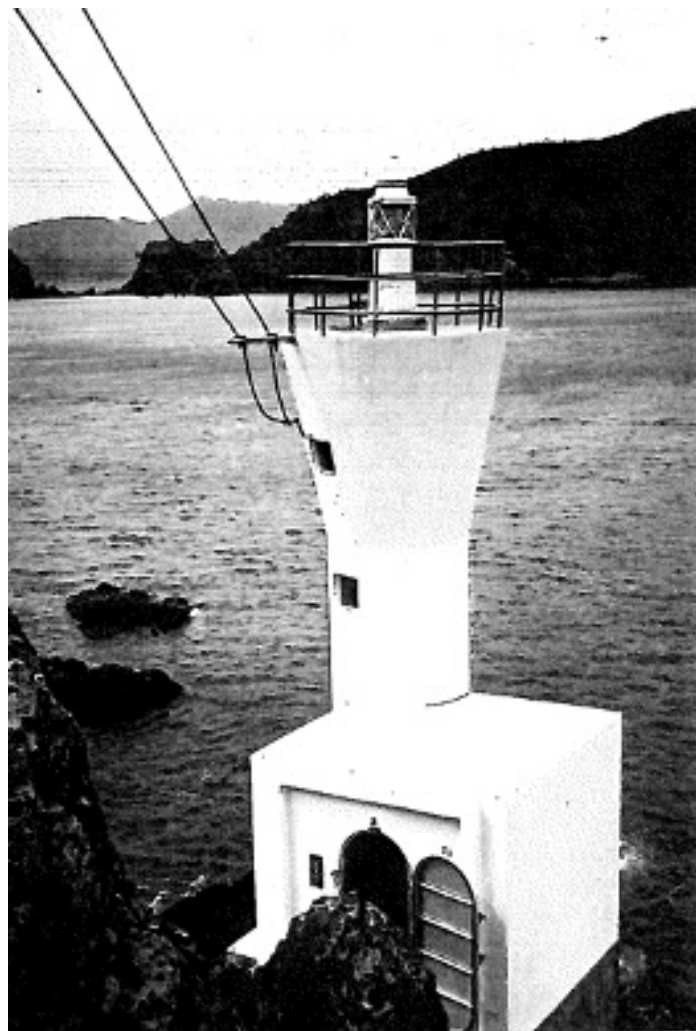
伊予深浦港荷箸鼻灯台は、第3種漁港である深浦港の港口を明示する重要な標識です。

漁港は、地元の利用が主となる第1種から離島や避難港の第4種まであって、第3種は利用範囲が全国的となる比較的大規模な漁港です。

愛媛県に所在する第3種漁港は3港だけとなっており、他の2港は八幡浜港（八幡浜市）と中浦港（愛南町）で、いずれも南予地方（宇和海沿岸）に位置しています。



この灯台は、１９６６年（昭和４１年）に設置されました。



【昭和４１年頃の灯台】

当初はコンクリート造りでしたが、２０１３年（平成２５年）に鉄製（鋼管）に改築しています。



【現在の灯台】

ここの保守・点検は、灯台周辺に浅瀬があって海上からのアプローチが難しいため、陸上側から崖地を下って行くので、宇和島海上保安部管内屈指の難関標識となっています。



【灯台背後の崖地が巡回経路】



【令和2年頃の巡回状況】



【現在の巡回状況（令和4年度に安全対策を強化）】



【慎重に崖を下りる交通課職員】

灯台の対面にある愛南漁協深浦本所は、愛媛県唯一のカツオ水揚げ基地で、構内に愛南市場食堂があり、新鮮な魚料理が食べられますが、特に「びやびや鰹刺身定食」は絶品です。

（愛南町では、出港したその日に帰港する「日戻りカツオ」が水揚げされており、日戻りカツオの中でも船上で活〆を行い、より鮮度の高いカツオを「愛南びやびやかつお」と呼んでいます。）

○伊予深浦港荷碁鼻灯台要項

所在地 愛媛県南宇和郡愛南町（荷碁鼻）

塗色・構造 白色、塔形（鉄造）

灯 質 群明暗白光 明 3 秒暗 1 秒明 1 秒暗 1 秒

光達距離 4.0 海里（約 7.4 km）

高 さ 地上から構造物の頂部まで 8.95m

平均水面上から灯火まで 11.21m

地上から灯火まで 8.88m